

小金井の新た

旧三井家本邸

旧財閥三井の総領家第11代当主八郎右衛門高公が昭和27年に麻布笥町（現港区西麻布）に建てた邸宅です。建築様式は伝統的な和風を基調とし、独特な和洋の融合を図っています。日本を代表する旧財閥家本邸としての風格をとどめる、質の高い近代和風建築として貴重です。



東京都指定有形文化財
旧小出邸・旧三井家本邸
 ■指定日 平成31年3月29日
 ■所 桜町3-7-1（江戸東京たてももの園内）
 ※平成10年に園内へ移築



旧小出邸

茶室の研究と設計で著名な建築家・堀口捨巳が最初に手がけた住宅建築です。実業家の小出夫妻の隠居所として、文京区西片に大正14年に竣工しました。大きな屋根に白い箱をはめこんだデザインは、オランダ建築に影響を受けています。日本のモダニズム建築の発展過程を示す実例として建築史上重要な建物です。



小金井市
登録有形文化財
陸軍技術研究所境界石杭
 境界石杭は、側面に「陸軍」と刻み、陸軍用地の境界に設置されたものです。戦争遺跡である旧陸軍技術研究所の存在を現地に示す遺物として貴重です。
 ■登録日 平成30年8月23日
 ■所 本町5-31
 ◇陸軍技術研究所
 戦時中、市の西部一帯には、陸軍技術研究所がありました。敷地は広大な堀で囲われ、6つの技術研究所が設けられました。

小金井の歴史・文化・美術を知る



小金井市の歴史や文化財を調べる際は、生涯学習課発行の各種の刊行物をご活用ください。

■頒布場所 生涯学習課（市役所第二庁舎7階）、文化財センター、市内契約書店

【最新刊行物】

◇小金井市史 通史編

小金井の歴史3万5千年の流れを一書にまとめました。旧石器時代から平成元年ごろまでの小金井の成り立ちが紹介されています。

■頒布価格等 1,600円（A5判・古地図付き）

◇小金井市史 資料編考古・中世

市内の遺跡から発掘されたさまざまな時代の出土品や中世小金井の姿を示す資料を収めています。豊富な写真や図版を使って解説します。

■頒布価格等 3,700円（A4判・DVD付き）

小金井市史・文化財関係有償刊行物



市内から発見された縄文土器・古文書・民具等の文化財を保存・展示し、身近な郷土の歴史に親しんでいただけます。

この建物は、「浴恩館」と呼ばれ、昭和5年から青年団講習所として使われた由緒のある建物です。講習所長であった下村湖人の小説「次郎物語」の舞台としても知られ、空林荘と共に、市史跡に指定されています。

【展示品の逸品－市指定有形文化財「中山谷遺跡出土縄文土器」】

この土器は、縄文時代中期の土器スタイル「加曾利E式」を表象する重要資料です。



文化財センター（緑町3-2-37）



中村研一の絵画・陶芸等約800点を所蔵し、所蔵作品展・企画展を年間3～4回開催しています。

【企画展「模写－西洋絵画の輝き」】

昨年度に続き、はけの森美術館では「うつす」をテーマに展覧会を開催します。今年度はヨーロッパ古典絵画です。「うつす」という行為を通じてみえてくる作品の魅力をご堪能ください。

■時 7月27日（土）～9月8日（日）

※26日までは展示替え作業のため休館中ですが、美術の森緑地、美術館附属喫茶棟「Mushinoはけの森カフェ」（月曜日休み）は利用できます。

市立はけの森美術館（中町1-11-13）